

稲作情報

(幼穂形成期～登熟期前半の管理)

令和8年度 第3号

令和8年7月15日発行

会津農林事務所喜多方農業普及所、JA 会津よつば、喜多方市、北塩原村、西会津町

掛け流しは行わず、生育に合わせた水管理と肥培管理をしましょう！

★高温時における管理のポイント★

- 1 水管理：間断かんがい～出穂前後の湛水管理～出穂後の飽水管理
- 2 追肥：生育診断に基づく穂肥の実施
- 3 斑点米カメムシ対策：畦畔の草刈りは出穂10日前まで！

生育状況

水稻作柄解析試験生育調査結果(会津地域研究所、6/23時点)

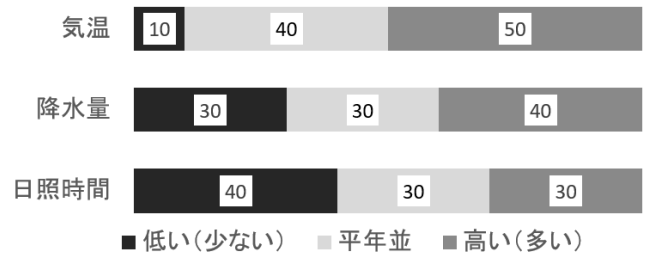
品種名		草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉齢(葉)
コシヒカリ	本年	42.0	718	8.5
	平年	46.0	670	9.3
	平年比	91	107	-0.8
ひとめぼれ	本年	41.3	778	8.6
	平年	42.9	656	9.2
	平年比	96	119	-0.6
天のつぶ	本年	41.9	695	8.5
	平年	46.0	588	8.8
	平年比	91	118	-0.3
		移植日:5/20、栽植密度:20.8株/㎡		

1ヶ月予報

仙台气象台(7月2日発表)

○期間の前半は気温がかなり高くなり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

○平均気温は高い確率50%、降水量は多い確率40%、日照時間は少ない確率40%です。



水管理

【出穂前】

- ・ 中干しは、出穂30日前(幼穂ができはじめる前)には終了し、間断かんがいを行いましょう。
- ・ 穂ばらみ期(出穂直前)から出穂期(開花期)は、水分が不足すると開花や受精に障害が起きるため、湛水管理を行いましょう。

【出穂後】

- ・ 出穂後20日間の平均気温が26℃を越えると白未熟粒が増加します。登熟期間は、間断かんがいを行い、高温が続く場合は、飽水(ひたひた水)管理で根の活力維持を図りましょう。
- ・ 早期落水は品質低下や減収を招くため、出穂30日後を目安に落水しましょう。



図1 飽水管理(ひたひた水)

肥培管理

- ・ 穂肥は、生育状況や葉色に応じて時期や量を調整してください。通常、コシヒカリは出穂の15日前頃、その他の品種は出穂20～25日前頃が適期となります。表1の生育目安(草丈・葉色)を下回る場合は追肥を行いましょう。基肥一発肥料を使用している場合、葉色が低下した場合は追肥を行いましょう。判断に迷う場合は、お問い合わせください。

表1 品種ごとの穂肥の目安（参考）

品種	出穂期 (平年値)	幼穂形成期 (平年値)	草丈 (cm)	葉色 (カラススケール)	穂肥時期	窒素成分量 (kg/10a)
コシヒカリ	8月8日	7月14日	65～70	3.5	出穂15日前頃 (7月24日頃)	1.0～2.0
ひとめぼれ	7月31日	7月6日	60～65	4.0	出穂25日前頃 (7月6日頃)	1.5～2.0
天のつぶ	8月3日	7月9日	65	4.0	出穂25日前頃 (7月9日頃)	2.0

病 害 虫 対 策

(1) 斑点米カメムシ類の防除

- ・畦畔の草刈りは、出穂10日前までに行いましょう。それ以降の草刈りは、カメムシ類を水田内に追い込むこととなりますので、8月末頃まで草刈りを控えましょう。
- ・粒剤（水面施用剤）による防除は、穂揃い期～乳熟期（出穂5～10日後）に湛水状態で散布しましょう。
- ・粉剤や液剤による防除は、乳熟期（出穂7～10日後）と、その7日後の2回防除を基本に行いましょう。

表2 斑点米カメムシ類防除農薬の例

薬剤名	使用時期	使用量
スタークル粒剤	収穫7日前まで	3kg/10a
スタークル粉剤 DL	収穫7日前まで	3kg/10a
スタークル液剤 10	収穫7日前まで	60～150L/10a (1000倍希釈) 無人航空機の場合 0.8L/10a(8倍希釈)
キラップ粉剤 DL	収穫14日前まで	3～4kg/10a

(2) いもち病防除

- ・いもち病は日当たりの悪いほ場、生育が過密な箇所等の多湿条件で発生しやすいです。特に降雨が続く場合は注意しましょう。
- ・葉いもちが確認されたら、早急に粉剤等で防除しましょう。育苗箱施用剤を施用した場合でも、薬剤の効果が徐々に低下するので発生状況を確認しましょう。
- ・粒剤による穂いもち防除は、出穂前に遅れないで散布しましょう。
- ・福島県病害虫防除所では、いもち病の感染好適条件の出現状況を HP に掲載しています。

表3 いもち病防除農薬の例

薬剤名	使用時期	使用量
コラトップ粒剤 5	葉いもち：初発10日前～初発時 穂いもち：出穂30日前～5日前まで	3～4kg/10a
フジワン粒剤	葉いもち：初発7～10日前 穂いもち：出穂10～30日前(収穫30日前まで)	3～5kg/10a
ブラシン粉剤 DL	収穫7日前まで	3～4kg/10a

福島県ブラスタム↓



※ 熱中症に注意!! 暑い時間帯の農作業を避け、こまめに水分補給をしましょう。
農薬は、使用回数や使用量等に留意し、ラベルをよく確認して使用しましょう。
水は貴重な資源です。用水のかけ流しは控えましょう。

★ 本情報の内容や米づくりに関する問い合わせ・相談はこちらへどうぞ

会津農林事務所喜多方農業普及所

TEL 0241-24-5743

J A 会津よつば 喜多方営農経済センター営農振興課

TEL 0241-21-1801